

「救急傷病者における血液培養菌検出陽性率からみた血液培養検査施行の妥当性と有用性」について

加古川中央市民病院救急科において、上記の課題名の研究をおこなっております。内容については下記の通りとなっております。

尚、この研究についてご質問などございましたら、最後に記載しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

重症感染症時には搬入直後の血液培養検査は不可欠で、迅速な抗生剤加療が重要とされている。しかし、救急領域（2次救急医療）での重症感染症（菌血症）罹患と診断される頻度や血液培養菌検出陽性率（年間、時期別）、低体温症時の血液培養菌検出陽性率などは明らかにされていない。

それらの実態を明らかにすることにより、搬入直後の血液培養検査施行の妥当性と有効性を明らかにすることにより適切な抗生剤治療に基づく重症感染症の救命率向上につながる事が期待できるため本研究を実施する。

【研究期間】

研究対象期間：2018年 4月～2022年3月

研究期間：病院長承認日～ 2022年3月31日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2018年4月～2022年3月に①救急科が初療 ②15歳以上(研究によっては40歳以上)、③重症感染症が疑われて血液培養検査施行をされた患者さんの

1) 月別血液培養施行例数、菌検出率の実態

*年齢、性別

*血液培養施行例数、血液培養菌検出例数・菌検出率（汚染菌検出は除く）

*血液検査（CBC、生化学、出血凝固、プロカルシトニン） など

2) 真夏期（6～7・8～9月）における血液培養菌検出陽性率と熱中症との鑑別

*搬入時体温、意識レベル、身体所見

*熱中症と最終診断された例数

*血液培養施行例数、血液培養菌検出例数・菌検出率（汚染菌検出は除く）

*熱中症との鑑別ポイントの抽出

*血液検査（CBC、生化学、出血凝固、プロカルシトニン） など

3) 低体温症傷病者における血液培養菌検出陽性率と死亡率

*年齢、性別

*搬入時体温、意識レベル、身体所見

*血液培養施行例数、血液培養菌検出例数・菌検出陽性率（汚染菌検出は除く）

*初療時体温、意識レベルの血液培養菌検出陽性率

*救命率

*血液検査（CBC、生化学、出血凝固、プロカルシトニン） など

4) 帰宅後、血液培養菌検出陽性と判明した傷病者の検討

*年齢、性別

*搬入時体温、意識レベル、身体所見

*血液培養施行例数、血液培養菌検出例数・菌検出陽性率（汚染菌検出は除く）

【個人情報保護の方法】

患者さんの個人データについて、研究実施に係る既存情報を取扱う際は、患者さんの個人情報

とは無関係の番号を付して対応表を作成し、連結可能匿名化を行い秘密保護に十分配慮いたします。対応表は研究に参加している研究責任者が各医療機関において厳格に管理し、研究の結果を公表する際は、患者さんを特定できる情報を含まないように留意します。研究の目的以外に、研究で得られた患者さんのデータは使用しません。

[データおよび試料提供による利益・不利益]

利益：通常診療の情報を用いており、データをご提供いただいた患者さんの個人には特に利益になるようなことはございません。

不利益：カルテからのデータのみ利用するため特にありません。

[登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて]

この研究で取得した患者さんの治療に関する情報は、研究発表後5年に患者さんを識別する情報を復元不可能な状態にして破棄されます。

[研究成果の公表について]

研究成果は学術目的のため論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

いつでも可能です。患者さんのデータを用いたくない場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取りやめの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータは本研究に用いることはありません。しかし同意を取り消した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていたようなには廃棄ができません。

[問い合わせ窓口]

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 救急科
切田 学
連絡先：079-451-5500